山田町・大槌町 海業探究学習ノート

2027年3月リリース予定
山田町・大槌町 2エリア
A4フルカラー 24ページ

海業探究学習ノートは、岩手県ホームページに無料公開します。岩手沿岸エリアの教育旅行に是非ご活用ください。(2027年3月完成予定)

海業とは… 海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるものを指します。

山田町・大槌町の特徴

- 複雑に入り組んだ三陸海岸の中でも、山田町には広大で穏やかな山田湾や船越半島があり、大槌町には外洋から絶え間なく波が打ち寄せる浪板海岸や吉里吉里海岸などの特徴的な海岸が広がっています。車でわずか20分(南北約20km)という近い距離でありながら、山田町では「静の海」、大槌町では「動の海」を体験するなど、比較しながら深く学ぶことが可能です。
- 山田町・大槌町の主要産業は漁業であり、他地域の漁村と同様に人口減少、高齢化そして担い手不足などの課題を抱えています。山田町・大槌町には、これらの課題に対して、自問自答・試行錯誤する人々の姿があり、地域の方々との対話を通して、濃密でリアルな探究的な学びが可能です。

盛岡市(仙台市)からのバス移動所要時間

山田町 盛岡から山田町まで1時間40分 / 仙台から山田町まで3時間20分

大槌町 盛岡から大槌町まで2時間 / 仙台から大槌町まで3時間



学習ノートの特徴 3つのポイント

3つのポイントを軸に、体験コンテンツ紹介やページ構成を心がけ、ワークにおいては、主体的・対話的・深い学びへの対応や、中核的な概念へと学びが繋がるように設計しております。

Point 1

顔が見える、つながりが見える!生き方が見える!
対話を通じた"深掘り"から、自分ごと化で将来を考えます。

海『業』を1つの職『業』ではなく、生業(なりわい)のような多様な視点で捉え、対話を通じて感じたり、深く考えたりすることができます。対話のためのヒントワードも紹介した演習ノート形式です。

Point 2

2つのエリア・海岸の比較・対比による深い学びが得られます

山田町・大槌町の多様な海の環境により主要産業である漁業の仕方が大きく異なります。見て分かる、主体的に体験してもっと分かる、対比して学びが深まる絶好の機会です。景観・観光/体験コンテンツ・産業の違いを理解した上で、「自然環境が人々の営みを形作る」という概念をより深く捉えることができます。

	山田町	大槌町
海の特徴	【静の海】山田湾は湖のように穏やか	【動の海】外洋からの波や潮流が入り込む
主な海産物	カキ、ホタテ、サーモン(養殖)	サーモン(養殖)、ワカメ、ホタテ、ウニ
海の特徴を活かした体験	シーカヤック	サーフィン
オススメ探究体験	養殖いかだ、漁師番屋体験など	藻場再生、地引網など

Point 3

各種体験から、探究ステップを経て『中核的な概念』に繋げます。

課題との向き合い方、物事の理解の仕方、人と共に活動に必要な共通の理解など、中核的な概念に至る"問い"と自分ならではの問いを一連の流れで学べます。

注)掲載の情報は、2026年9月現在の予定であり今後変更となる場合があります。

山田町・大槌町 海業探究学習ノート



2エリア共通ページ構成（案） 全24ページ

(1)学びの準備	基本情報、地域特性、町の産業・魚種の変化など
└ 災害を乗り越えて	東日本大震災、林野火災における漁業被害、全国からの支援や復興
(2)海業に関する取り組み	地域毎の特性
(3)体験プログラム	地域毎の体験
(4)ワーク	事前・現地・事後学習

おすすめの教育旅行とノートの活用方法

研修のタイプ	主に活用するページ （上段の2エリア共通ページ構成（案）参照）	活用のポイント
宿泊を含む教育旅行	学習ノート全編	学習ノート全編を使い3つのポイント（※）などを通じ、多様な探究的な学びを得てください。
日帰り/少人数体験	(3)体験プログラム　(1)学びの準備	遠足/校外学習としても、(3)体験プログラム紹介を入口に、(1)学びの準備の基礎情報で効率良く学べます。
プロジェクト学習	これからプロジェクト学習に取り組む場合 学習ノート全編 既にプロジェクト学習に取り組んでいる場合（途中段階） (4)ワーク (1)学びの準備	社会課題解決型の取り組みに参加する導入段階に。途中段階でも、(4)ワークで他地域と対比し、(1)学びの準備で地理的な全体像を把握することで、対局的/客観的な理解も深まります。

※表面、学習ノートの特徴　3つのポイントを参照。

学習ノート内の学びの構造

事後学習
- ●旅あとワーク（振り返り）
- ●自分ごと化ワーク
- ●更に研究したい
- ●自分たちの住む地域への応用

現地学習
- ●現地体験プログラム
- ●旅なかワーク（わかったこと、感じたこと、気づいたことのまとめ）

事前学習
- ●海業に関する取り組み
- ●Google Map等を活用したちょこっとワーク
- ●旅まえワーク（現地での学びや気づきを促す）

学びの準備
- ●基本情報、地域特性　●町の産業、魚種の変化
- ●災害を乗り越えて

お問い合わせ先：岩手県 農林水産部 漁港漁村課　TEL.019-629-5828　FAX.019-629-5824
メールアドレス：AF0014@pref.iwate.jp

注）掲載の情報は、2026年9月現在の予定であり今後変更となる場合があります。